

濃 飛 きた・みなみ  
保険者シリーズ

もっと住みたい 訪れたい  
みんなのふるさと わくわく下呂市

# 下呂市



下呂温泉（花火物語）



馬瀬川 鮎釣り

小坂の滝 (あかがねとよ)

## 1 森と清流と温泉のまち

**下** 呂市は、平成16年3月1日、旧益田郡の萩原町、小坂町、下呂町、金山町、馬瀬川の5町村が合併して誕生しました。岐阜県の中東部に位置し、面積は、851.21km<sup>2</sup>で、総面積の約91%を山林が占め、海拔が最高3,052mから最低220mと大きな高低差が特徴となっています。市の中央を飛騨川が南へ、西には清流馬瀬川が流れ、霊峰御嶽山をはじめ河川の両側に山並みが迫り、

飛騨木曾川国定公園や県立自然公園なども位置する自然豊かな地域です。江戸時代の儒学者林羅山が有馬・草津と並ぶ天下の三名泉と表した下呂温泉をはじめ、通年営業の温泉地としては日本一標高の高い濁河温泉や、炭酸含有量の多い湯屋温泉などの豊富な温泉に恵まれています。岐阜の宝物第1号に認定された「小坂の滝めぐり」や「日本で最も美しい村」連合に加盟している馬瀬地域の自然と清流など、それぞれの地域が持つ資源を活かし、人々が大切にしてきた文化や伝統を守りながら、市の将

来像「もっと住みたい 訪れたい みんなのふるさと わくわく下呂市」の実現に向けて、住みよいまちづくりを推進しています。

## 2 担当部署の紹介

**当** 市の国民健康保険は、総務部市民課が担当しています。戸籍・住民基本台帳、児童手当、児童扶養手当、福祉医療、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金などの業務を、課長含め14名の職員で行って

## 3 健康寿命の延伸と医療費抑制のための取り組み

**下** 呂市の国民健康保険加入者数は、平成30年度末に7,116

人、年度末総人口32,249人に占める割合は約22%です。国保世帯数は年度末で4,455世帯となり、全世帯数12,144世帯の約37%です。国保加入者数は年々減少しており、下呂市国保全体の医療給付費は減少していますが、一人当たりの医療費は高齢化や医療の高度化により増加し、医療費抑制のためにも健康維持・健康増進が重要な課題となっています。

平成30年度の特定健診受診率は52.1%、特定保健指導終了率は87.4%でした。健診は6月から7月にかけて各地区を巡回し行う集団健診と、6月から12月までの間に市内のかかりつけ医等で受診できる個別健

診を実施しています。健診受診の習慣化を狙った取り組みとして20歳から39歳の国保被保険者にも対象を拡大し、人間ドック受診者には補助を実施するなど受診しやすい体制づくりに加え、検査項目も国の基準以外に、血清クレアチニン、血清尿酸、HbA1c、尿潜血、総コレステロール、貧血検査、尿中塩分測定の7項目を加え、心電図検査も全員に実施する等の健診内容の充実を図っています。

保健指導については、健康医療課の保健師9人と管理栄養士3人で行っていますが、特定保健指導以外にも疾病の重症化予防の視点で優先順位をつけ、家庭訪問による保健指導を実施しています。

当市では脳血管疾患や高血圧の受診者が多く、健診結果でも高血圧の割合が多いことが課題であったことから、保健師、管理栄養士によるハイスクアプローチとしての訪問指導以外にも、下呂市医師会等関係機関の協力を得て、市民と一緒に取り組む「下呂・減塩・元氣大作戦！」として減塩推進による健康寿命延伸運動を進めています。令和元年9月には、家庭でできる減塩のコツを知っ

## 4 今後の課題

**こ** れまで国保税を県内でも比較的低く抑えてきましたが、平成30年度の国保制度改革により、県への納付金の負担が財政運営に大きな影響を与えることとなりました。一人当たり医療費が高く納付金が高額となり、標準保険料率との乖離が大きいため、計画的に保険料率を上げていく必要があります。被保険者の急激な負担増とならないよう、国保基金を活用しながら適切な保険料率の算定に努め、健全な財政運営を行っていききたいと思います。



担当部署 スタッフ

### 被保険者数の推移 (年度末)

年度	人口(人)	被保険者数(人)	加入率(%)
平成28年度	33,437	7,865	23.5
平成29年度	32,892	7,517	22.9
平成30年度	32,249	7,116	22.1

### 特定健診受診率

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成28年度	5,979	3,457	57.8
平成29年度	5,707	3,044	53.3
平成30年度	5,465	2,845	52.1

### 1人当たり費用額

年度	費用額(円)
平成28年度	389,046
平成29年度	399,340
平成30年度	407,418



厚生労働大臣最優秀賞受賞